

10月 28日 母校に「元気ですか〜!」



ネタを交えながら、生徒と触れ合うアントキの猪木さん

タレントのアントキの猪木さん(本名 小松原裕さん)が、母校の下稲吉中学校に講演のために訪れ、生徒や保護者を前に、「人生の大事な場面での選択」をテーマに、熱いアントキの流「生き方」を伝えました。

男女共同参画講演会 10月 4日



「旅行はだれと行きたいですか？」との質問に答える参加者

市では、みんなで男女共同参画を考える機会にと、スーパー主夫として執筆・講演活動をしている山田亮氏を講師に招き、多目的会館で講演会を開催、約80人が参加しました。

リクガメの愛称は「アルディー」に決定 10月 5日

水族館で名付け親に記念品贈呈  
水族館のリクガメ(アルダブラウガメ)の愛称を募集し、約300の応募の中から、石井浩太さん(日立市・9歳)が選ばれ、記念品の花束と亀のぬいぐるみが手渡されました。

決定した愛称は「アルディー」で、浩太さんは、亀の種類から「アル」をとり、女の子だから「ディー」をつけた」と受賞を喜びながら話してくれました。

お父さんによると「県が進めるスタンプラリーに参加し、夏休みに家族そろっていろいろな施設を見て歩き、その際たまたま水族館を訪れ愛称募集のことを知り応募した」とのことでした。



石井さん(右)と西川館長

10月 26日 平成20年度有害鳥獣捕獲事業を終了



捕獲されたイノシシ

カラス・カルガモ・イノシシを捕獲  
市では、有害鳥獣による農作物の被害を防ぐため、カラス、カルガモ、イノシシなどの捕獲を行なっています。

これは、農作物への被害を減らし生産者のくらしを守るため、茨城県猟友会霞ヶ浦支部(服部長左衛門支部長)ならびに同石岡支部千代田部会(小山昌利部会長)が委託を受けて行なっている事業です。

特に、霞ヶ浦地区はカルガモによる蓮根の被害が、また、千代田地区の雪入など山間の地域では、イノシシが春や稲の収穫時期にふもとに下りてきて、畑や稲などを荒らす被害が多く報告されています。毎年捕獲を実施していることで、農作物への被害が軽減されています。

平成20年度有害鳥獣捕獲数

鳥獣	霞ヶ浦地区		千代田地区	
	春	秋	春	秋
カラス	152	190	-	195
カルガモ	170	-	-	-
イノシシ	-	-	17	12



県環境科学センター内



あじさい館ホール



あじさい館玄関前

11月 2日

皇太子殿下が「帆引き船フェスタ」をご視察に来市

帆引き船と霞ヶ浦をテーマとした絵画や写真に彩られたあじさい館ホールで、5分の1縮尺の帆引き船模型を見ながら、仕組みや歴史などの説明を受けられ、帆の素材や滑車(せみ)の使い方について質問されました。

また、子供たちの模型作り教室をご覧になり、優しい言葉をかけておられました。

皇太子殿下は、1日に水戸市の県民文化センターで行われた国民文化祭のオープニングフェスティバルに出席され、2日に水戸市内のホテルから環境科学センターを経由し、あじさい館に到着されました。



あじさい館や国道354号線沿いではたくさんの方が皇太子殿下をお迎えしました。



11月2日に志戸崎漁港から特別操業した七色の帆引き船



「帆引き船フェスタとは」

国内最大の文化の祭典、国民文化祭が、11月1日から9日にかけて茨城県で開催されました。市では平成18年10月から実行委員会を組織し準備にあたってきました。「帆引き船と霞ヶ浦」をテーマにあじさい館と郷土資料館において、小学生や文化団体、講座受講生の制作したさまざまな作品の展示、帆引き船の歴史・帆引き網漁法の発明者本市出身の折本良平の足跡などを紹介しました。また、9日は、音楽・ダンス・伝統芸能などの発表と、帆引き船の模型づくりなどの体験教室、物産展などの催しものを開催しました。

9月 15日 10月 11日

両地区で敬老式典を開催



歌謡ショーに出演した小町雪乃さんと握手を交わす参加者

小町さんの歌声に歓喜  
市では、70歳以上の方を対象に9月15日千代田地区(千代田公民館)、10月11日に霞ヶ浦地区(体育センター)で敬老会を開催しました。

式典では、それぞれの地区で88歳の米寿、99歳の白寿、100歳を迎えた方々の表彰を行ない、長寿を祝いました。

今年は、式典後の余興に那珂市で活躍する70歳以上のアマチュア劇団「たっつあい」をお招きし、那珂市に伝わる昔話をユーモアたっぷりの演劇を観賞しました。また、小町雪乃さんの歌謡ショーでは、ステージを降りて歌う小町さんと握手を交わしながら、歌声を楽しんでいました。

恒例となった抽選会では、1等の血圧計をはじめ、電気毛布、電気マッパなどが商品として、当選者に配られました。